平城西中学校区 新小中一貫教育学校開校準備委員会 第8回

令和2年10月2日(金)

1. 日 時:令和2年10月2日(金)18:00~20:20

2. 場 所:平城西中学校 金工室

3. 参加者:委員 出席13名 欠席5名

奈良市教育委員会事務局 教育政策課から4名出席

地域教育課から1名出席

4. 内容

① 会議に先立って

- 第7回開校準備委員会の議事録で、教育施設課から自治会長出席の地域向け工事説明会を行う旨についての項目があるが、実際の会議でそのような説明がされていたか、確認が必要。(開校準備委員会)
 - > 次回の開校準備委員会で第7回開校準備委員会の会議の記録を確認し、報告する。(教育委員会事務局)
- 第7回開校準備委員会で要望が出された「テニスコートの位置」と「東門の階段の向き」に係る情報 提供について、開校準備委員より先に、会長、副会長へ情報提供がなされている。その後、開校準備 委員に情報提供されないうちに、周辺自治会長への工事説明があった。(開校準備委員会)
 - ▶ 今後は教育委員会事務局から会長、副会長のみへの連絡、情報提供ではなく、委員全員にメール 等で連絡、情報提供を行う。(教育委員会事務局)

② 教育政策課より

【テニスコートの位置について】

- 今回の建築により、平城西中学校に5面あったテニスコートを全て無くすことから、子どもたちの活動の場を確保する必要がある。神功小学校の跡地利用がはっきりしていない状況で、設定されているサブグラウンドの範囲を超えてテニスコートを西側に動かすことはできない。グラウンド北側の法面を削ることも、現状では未確定であるとともに、北側は騒音の問題もありテニスコートは建築できない。つまり、テニスコートはサブグラウンドの南側、もしくは中央に設置するしかない。中央に設置すると、かえって活動の邪魔になることになるため、テニスコートは南側に位置付けるという結論に至った。(教育委員会事務局)
 - ▶ 小学生のサブグラウンドの形状も運動の出来る楕円系グラウンドが確保できるよう、神功小跡地の境界線を神功自治連合会、教育政策課と資産経営課の間で決めてその結果の報告を準備委員会で報告して欲しい。(開校準備委員会)
 - → 小学生がサブグラウンドを使用する際、市道(道幅 2.5m)を通過する事となり、事故発生への危険性がある。テニスコート設置工事と市道の場所移動も同時並行で進めるためにも、神功小跡地内の教育エリアと民間活用地の線引きを早急に進め、報告をして欲しい。(開校準備委員会)

【東門の階段の向きについて】

O 階段を降りた位置が、横断歩道で信号を待つ位置と一致している。安全上、南側にずらした方がよい という判断を行った。(教育委員会事務局)

【工事・校舎建設について】

- 〇 保護者に対する説明会を開催して欲しい。(開校準備委員会)
 - ▶ 校舎建築について説明会を行う予定はないが、学校の協力を得ながら、学校を通して保護者に情報を提供する。また、開校準備委員会で出た要望を受け、奈良市所有の校舎模型を順に平城西中学校区の各校園に置くとともに、パースをプリントアウトして展示し、保護者に見てもらう機会を設ける。(教育委員会事務局)

③ 校名の決め方について

○ 小中学校を同じ名前にした方が良いという意見が全体の65.5%であったアンケート結果を踏まえ、 小中学校を同じ名前にするほうが良いという意見が準備委員会の過半数の意見となった。平城西小学 校が既にあるので、「平城西」という名前は使うことができない。次回の開校準備委員会で候補を絞 っていく。(開校準備委員会)

4) その他

- 通学路が変更となることに伴う要望については、各PTAがまとめる。(開校準備委員会)
 - ▶ 通学路に関わることについては、担当課である教育委員会事務局教育総務課が県や警察、道路部局などに依頼、要請を行う。(教育委員会事務局)
 - ▶ どういう学校をつくるのか、現在各学校から出る実務者会議で検討をしている。次回の開校準備委員会で、検討している経過を報告する。(学校)

次回の開校準備委員会 11月5日(木)18:00~ 平城西中学校金工室

新しい学校づくりのお問い合わせ先:奈良市教育委員会事務局教育政策課 Tel0742-34-5386